

# ISK経営塾66期 講義キーワード

第4回

2005年5月24日(火)

## ◆前回講義キーワード

- 第一ステップは「よし、やってみよう」という、腹を決めて行動しようとする勇気が大切。
- 固定概念にとらわれていたり、受身でいた方が楽だが、我々は勇気を持って自由自在に羽ばたこう。
- 勇気を持って行動し、新しい価値創造をしていく。
- 情熱があれば、未来の自分の可能性は無限大である。
- 自己満足ではいくらやってもダメ。顧客が喜ぶことをドンドンやっていく。
- 今までのトレンド、業界常識にとらわれていては21世紀の成熟マーケットでは勝ち残ることはできない。
- 経営に“これでいい”はなく、常に進一歩。“これでいい”と思った瞬間から衰退は始まってしまう。
- 日々「原理・原則」、「意識改革」、「コンセプトの追求」を無限にレベルアップしていく。

- 登る山を決めているからこそ、仮設がたち、手段方法も考えられる。
- あるべき姿がなければ、全ての問題を切り捨てることができず、問題処理に追われてしまう。あるべき姿があるからこそ、問題構築もできる。
- 目的の“明確化”、“細分化”、“統合化”の3つを意識できるよう心がける。“問題”は細分化して、前後際断する。
- 現象面に左右されずに、枝ではなく幹を抑えることで本質を捉えた解決方法が見えてくる。
- いま・ここを命がけでやった結果が輝く未来であるように、小さな仕事の積み重ねが大きな結果を生む。
- 大きな戦略を立てる際には仮設・検証法、今のことを明確にするには、5段階思考法が有効になる。

- 戦略構築の第一歩は事実を精確に認識すること。問題解決の第一歩は問題発見である。
- 事実をつかむ目、事実から問題を発見できる目、原因・真因を見出せる目を大事にもつ。
- 過去と他人は変えられない。変える事ができるのは、今と自分だけである。